



MANABI新聞



2月24日
MANABI祭
2007



かぼちゃ、にんじんなどを使った
タイの野菜飾り

準備も当日の進行もすべて学生主導、実行委員は卒業クラスが担当、『学生の、学生による、学生のためのお祭り』、そう、それが MANABI 祭！

MANABI 祭 2007は、小雪が舞う中、80名を越すお客様を迎え、2月24日に上田市勤労者福祉センター3階大会議室で行われました。第1部は『私の見たニッポン』と題し、スピーチコンテストを、第2部は『ワールド不思議発見』と題し、中国、インドネシア、モンゴル、ブラジル、タイなど各国の紹介を行いました。

各国のブースでは、民族衣装をまとった学生たちが事前に用意した民芸品、展示物、食べ物などを日本語で説明、各ブースからは驚きの声、笑い声、笑顔が絶えませんでした。その中でも、人気があったのが、モンゴルのブース。

モンゴルの煌びやかな民族衣装をまとった学生がチングスハンについて説明。また、VCDを使っのてのモンゴル民族の生活についての説明には多くの人が足を止めました。



チャイナドレス姿の
三人娘

この MANABI 祭を通し、学生は、日本と学生の母国について改めて考えることになりました。また、一般の日本の方にも、外国人の視点から見た日本と日本人や日本人の考え方、また、学生の出身国について知っていただけたようです。



ワヤン人形(インドネシア)



司会の二人、小敏さん(中国、右)とバンドゥさん(インドネシア、左)



モンゴルの民族衣装をまとって



インドネシアの踊り

MANABI新聞とは
MANABI 外語学院での活動・学生の様子などを知っていただくための新聞です。

伝言板
2007年10月生の出願書類提出期限は4月末日までとなっています。よろしくお祈いします。



MANABI新聞

第1号

2月24日
スピーチコンテスト
本校

今年のスピーチのテーマは『私の見たニッポン』。52名の学生が参加した予選から選ばれた7人が参加しました。日頃よりMANABI外語学院で学んでいる日本語を使い、日本へ来てから『不思議』『面白い』『なるほど』と

感じたことを思い思いに発表しました。

日本人から見ると、何気ないことも、外国から来た学生の目には違って映っているようです。そんな違った視点を持った学生たちのスピーチは審査員をはじめ、観客の皆さんに『日本を日本人を日本文化を考える素晴らしいひととき』をプレゼントしたかのようでした。

最優秀賞に輝いたのは、中国出身の喜讀怜子（きとくれいこ）さん（来日1.5年）。彼女は二つの日本を見てきました。一つは、シンガポール留学時に会ったダラダラして不真面目でいい加減な日本人留学生を通して感じた日本。もう一つは、実際に日本で見た日本、それは勤勉で自分の悲しみを見せずに頑張っている日本人の姿を通して感じた日本。その二つの日本を通して得た自分の考えを、自分の言葉で、そして豊かな感情表現で熱く語りました。



先生方から花束をもらい、笑顔の参加者

一チが続きました。



最優秀賞 喜讀怜子さん（中国）



前列左から出場者の金逼さん（中国）、馬さん（中国）、ウィナさん（インドネシア）、リスマさん（インドネシア）、怜子さん（中国）、ハルシヤナさん（スリヤ）、リナさん（フランス）後列左から審査員の信州大学繊維学部 金助教授、長野国際文化学院 柳平教務主任、上田市国際交流協議会 浅井会長、MANABI 外語学院 村山校長、MANABI 外語学院 横沢理事長、株式会社 みすず総合コンサルタント 増沢代表取締役、株式会社 新村 高橋代表取締役、MANABI 外語学院 堀内常務

そのほかにも、「日本人は、恥ずかしがり屋で、お世辞を言うてしまうことが外国人にとっては親しくなる壁（障害）となってしまってる」「日本人が『ありがとう』『すみません』を口だけで言うのではなく、お辞儀をして言う。そこには神に祈るのと同じ、『心』が入っている」など、興味深いスピーチが続きました。



MANABI新聞



2月23日
スピーチコンテスト
東京校

2月23日(金)東京校において、第1回スピーチコンテストが開かれました。

各クラスから代表2名が出場し、入賞者は教職員と学生全員の投票によって決められました。先生の手直しが入れられないというルール

のため、クラスメートが、話し方や立ち居振る舞い、内容などについてアイデアを出し合い、クラスみんなでスピーチを完成させるというスタイルをとりました。



金賞 金成泰さん(韓国)



前列左より 胡佳仁さん(中国)・金成泰さん(韓国)・非出場者・李成陳さん(韓国) 後列左より 安轟勲さん(韓国)・鄭大教さん(韓国)・吉慧美さん(韓国)・鄭昌来さん(韓国)・全仁慶さん(韓国)・盧聖九さん(韓国)

東京校ではテーマは自由題で、学校での2年間の思い出について、「割り勘」「オタク」など日本独自の文化について、愛について、クラスメートについて、自分自身についてなど様々なテーマのスピーチを聞くことができました。



「オタク文化」について話す
全仁慶さん(韓国)

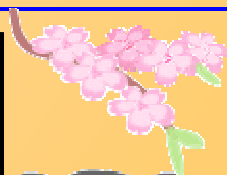
東京校で金賞(最優秀賞)に輝いたのは、韓国出身の金成泰(キムソンテ)さん。テーマは「ナンパ」でした。彼自身が渋谷、新宿、原宿で行った「ナンパ実験」の結果をもとに、外国人がどのようにナンパをすれば成功するのかという内容で会場の爆笑を誘っていました。



マー君

次号予告

2006年度卒業式
2006年度報奨金受給者発表
など



ナディちゃん